

とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2011.8 August Vol.18-1

民主県民クラブで 原発安全対策調査開始

3月11日に発生した東日本

大震災を受けて、福島第一原発ではかつて経験したことのない事故が発生し、今なお収束を見ない状況にあります。このような状況にあつて、原発を抱える島根県でも、事故が起きないように安全対策に万全を期すとともに、万が一に備えた防災対策が問われています。

しかし、島根県議会では、原発安全対策調査特別委員会の設置を求めたにもかかわらず、多数派である自民議連の「時期尚早」の主張に設置が見送られました。

そこで、民主県民クラブでは独自に調査を行い、原発の安全対策や今後のエネルギー政策について提言していくための「民主県民クラブ原発安全対策調査チーム」を立ち上げました。

国のエネルギー政策

8月10日～12日に民主県民クラブ原発安全対策調査チームで県外調査を行いました。第一日目は、経済産業省の資源エネルギー庁から「核燃料サイクル政策」、保安院から「福島第一原発事故」について説明を受けました。

中でも、エネルギー政策についての現段階での議論の状況



経済産業省からエネルギー政策について聞く

と核燃料サイクルについては、使用済燃料の再処理とそこから出る高レベル放射性廃棄物をガラス固化し、地下300mに保管する計画です。しかし、どこが地下埋設を受け入れるのか、長期間(1000年以上)地下埋設することに果たして本当に安全が保持できるのか、私たちが予想もできない未来に関わる問題であり、真剣に議論しなければならぬことです。原発への依存度を減らしていくにしても、すでに原発が存在し高レベル放射性廃棄物がどんどん増えていく中で、いつまでも放っておくことのできない問題です。

(裏へ)

災害救援ボランティア隊

6月29日、民主県民クラブで、原発の安全対策についての各関係機関の意見や各種情報の収集、現地視察などの調査を行うこととして、島根原発安全対策調査チームを発足しました。

調査チームの座長には、政調会長の須山議員、事務局長に政調副会長の私が担当することになりました。

早速、調査のはじめとして、島根原子力保安検査官事務所、竹廣智治所長から、保安検査官事務所の組織や業務について、また、オフサイトセンターなどについての調査を行いました。





柏崎刈羽原発で安全対策などについて説明を聞く

♥地震災害の経験を生かす♥

2日目は、柏崎刈羽原発と新潟県庁で調査です。

柏崎刈羽原発は、2007年7月16日の中越沖地震を経験している原発として、地震の際の対応やその後の地震対策などについて調査しました。耐震設計時の基準加速度を超える地震を経験しており、その後の地震対策として補強工事が行われ、また、火災が発生したことに伴い消防体制の強化などもされています。

新たにつくられた免震管理塔、津波対策として浸水防止の壁の設置等の対策が実施されているところを見ました。いずれもどこを改修したのかがわ

かるようにされていました。

地震を体験したことは、今後の緊急時の対応について想定しやすい事を生かして、原発に関わる人たちへ体験を伝えることも大事であると言うことを感じました。すでにある原発の安全をどう確保していくか、事故の検証も十分に行い公表していくことは勿論のことですが、事故を体験した人たちが伝えていくことがよりリアルに事故対応について想定できる点では、現場での研修を行っていることも大事です。

♥国の指針を待たずに取り組む♥

次に新潟県庁へ行き、防災体制などについて調査しました。

新潟県では、中越沖地震前にトップダウンでそれまで生活環境部の中にあつた防災局を独立させ、さらに局長の上位職として危機管理監を設置しています。そして今回の震災を受けて人員の増員がなされ、防災に対する意識の高さが覗われます。

また、防災計画についても国の指針を待たず、できることが



新潟県庁で防災体制などについて聞く

ら決めていくという姿勢で取り組んでおり、さらには避難区域が広がることも想定されることから、原発に対しての理解を深めるために県内市町村職員の勉強会を開催しています。一も二も先を行く新潟県の姿勢は島根県も見習うべきです。

♥事故の教訓を安全対策に♥

3日目は、柏崎市へ向かい、最初に柏崎市役所に行き、市議会の原子力発電所特別委員会の取り組みについて調査を行いました。

敦賀市には日本原子力研究開発機構のもんじゅ、日本原子力発電(株)敦賀発電所、廃炉となつたふげん、そして隣接の美浜町には関西電力(株)美浜発電

所とまさに原発銀座と言われる地域の一角をなす土地柄だけに、常に特別委員会を設置し課題に対応していますし、委員長熱意ある姿勢には感心しました。現に原子力発電所がある限り、どう安全を確保していくかに議会として取り組む姿勢を見ました。



高速増殖炉もんじゅについて聞く

その後、日本原子力研究開発機構の高速増殖炉もんじゅの調査に行きました。

これまでのナトリウム漏れや装置の落下などの事故の経過とその後の対応について分かりやすく展示し、詳しい説明がなされ、安全対策に取り組んでいることを情報公開されています。

♥島根オフサイトセンター♥

7月8日、原発安全対策調査チームで、緊急時の情報収集や対応についての協議や防災対策を行うオフサイトセンター(原子力防災センター)の見学と保安検査官事務所の甲斐英二副所長からセンターの機能等についての説明を受けました。

今回の福島原発事故や震災を受けた原発ではオフサイトセンターが機能しておらず、緊急時に威力を発するため、そのあり方について再考が必要です。

島根県庁に隣接して設置されていますが、一般にはどこにあるのかも知られていないのではないのでしょうか。

